

中期経営計画の概要

【経営理念】

東京港埠頭株式会社は、
東京港が、国際的な貿易港・首都圏の物流基地として
重要な役割を担うとともに、
都民に親しまれ憩いのある水辺の都市空間として
発展するよう全力を尽くします。

第1期（2008～2010） Start Up PLAN ～東京港からはじまるPORT INNOVATIONS～

事業基盤の強化

- 国際競争力強化のために京浜三港が連携
- 外貿コンテナ埠頭の管理を一元的に担い、効率的・効果的なサービスを展開

<2008年度>

- ・新会社として業務開始（民営化）
- ・東京臨海HDグループに参画

<2009年度>

- ・外貿コンテナ埠頭の一元管理
- ・京浜港共同ビジョン策定

<2010年度>

- ・京浜港が国際戦略港湾に選定
- ・第2期指定管理者事業者に選定

Step Up!

第2期（2011～2013） 東京港の未来を拓く ～ Step Up TPT PLAN ～

利用者サービス向上を通して、**東京港・臨海部の発展を目指していきます。**

飛躍・発展

【外貿埠頭事業】 東京港の国際競争力の強化

現場の最前線に立つ当社が、真の国際競争力強化につながる施策を展開。

- ① 効率化の促進による物流のスピードアップ
・ポータルサイトの活用、最適な交通動線の策定、実施
- ② 貨物集荷を支援する体制整備、活動展開
・貨物集荷支援策の構築・実施、マーケティング活動の展開
- ③ 安全で利便性の高い施設の提供
・効率的・効果的な施設管理、環境に配慮した設備改善
- ④ 将来的な東京港の機能向上への備え
・さらなる機能向上に向けた計画立案

利用者サービスの向上によるより使いやすい港に発展

【公園事業】 臨海部の魅力あふれる都市空間の形成

都市空間における水と緑の魅力あふれる公園の管理運営を地域やお客様と共に推進。

- ① 地域と連携した新たな事業展開
・都民、住民が連携・協働する多様な事業展開
・企業と連携した取組により地域のブランド力を向上
- ② お客様へのサービスと信頼性の向上
・接客・接客能力の向上
・効率的・効果的な施設管理
- ③ 公園事業基盤の維持・強化
・利便施設の運営強化、安定的なサービスの提供

地域とお客様から信頼される公園の実現

中期経営計画の具体的取組等

外貿埠頭事業の取組

3年後の目指す姿

スピード・コスト両面における利用者ニーズを従来以上に積極的に捉え、的確に対応する施策を構築、展開し、利用者に選ばれ続けるとともに、より使いやすい港に発展

外貿埠頭の利用率 100%

具体的取組

- ① 効率化促進による物流のスピードアップ
 - ・ポータルサイトの活用など関係者とも連携した運用面での施策構築、展開
 - ・取扱貨物量の増加に伴う既存埠頭再編の計画立案を踏まえ、混雑緩和のための最適な交通動線の策定など関係者と連携した施策構築、展開
- ② 貨物集荷を支援する体制整備、活動展開
 - ・輸出入貨物のバランスのとれる新たな貨物集荷支援策の構築、実施
 - ・マーケティング活動の展開による積極的な利用者ニーズ把握、情報提供
- ③ 安全で利便性の高い施設の提供
 - ・ターミナル機能向上のための予防保全の視点による効率的・効果的な施設管理、施設改修
 - ・環境に配慮したターミナル運営に資する設備改善の取組
- ④ 将来的な東京港の機能向上への備え
 - ・新規埠頭整備、既存埠頭再編及び大井地区の新規埋立地活用のための関係者調整、計画立案

公園事業の取組

3年後の目指す姿

それぞれの公園の将来像や役割を踏まえた5ヶ年の指定管理事業の提案内容を前倒しして実施することにより、地域とお客様から信頼される公園を実現

提案内容を3年間で完全実施 100%

具体的取組

- ① 地域と連携した新たな事業展開
 - ・都民、住民と協働による公園の活性化や環境学習などの推進
 - ・進出事業者等と協働して活動する仕組みをつくり、臨海副都心のまちづくりに相応しい情報を提供
- ② お客様へのサービスと信頼性の向上
 - ・お客様の声を反映したマニュアルの作成と接客・接客能力の向上
 - ・公園の特色に合わせた維持管理ガイドラインの策定と実施による信頼性の向上
- ③ 公園事業基盤の維持・強化
 - ・売店、レストランなどの公園の利便施設の運営強化
 - ・指定管理事業の継続的な管理運営による安定的なサービスの提供

財務に関する目標

中期経営計画における経営指標は、以下の3つとする。

【自己資本比率】

目標値 : 40%を確保

[調達資金の安全性を示す指標]

【売上高経常利益率】

目標値 : 15%を確保

(取扱土量による変動が大きい建設発生土事業は除く)

[営業、財務活動を併せた全体の収益力を示す指標]

【総資本回転率】

目標値 : 0.17回を確保

(取扱土量による変動が大きい建設発生土事業は除く)

[総資本の運用効率をみる指標]